

いのちと健康を守る活動

治療より予防を！入院に備えて保険加入を！

—CMIP ジョジョのクリニック報告から—

10月以降6カ月分の支援事例の一部をお伝えします。

CMIP クリニック 対応患者	10月(13名) 11月(18名)、12月(15名)、1-3月記載なし(推定40名) いずれもハーブ薬や常備薬処方。
巡回診療	*11/10(トゥンガン・ラック村) 歯科 31名 一般診療 105名(風邪・高血圧等) *12/15(ハルブ村) 歯科 26名 一般診療 126名。 *1/29(バカエル村) 歯科 28名。 一般診療 93名(うち56名は風邪) *2/23(モクリン村) 歯科 24名。 一般診療 157名(うち89名は風邪) *3/10(アルカン村) 歯科 30名
特別支援	<1月> ①キアミの15歳の少年、切り傷が化膿・高熱で病院に搬送 ②サムラングの35歳の女性、子宮筋腫の手術で10日間入院。③ミアソン寮ハイスクール生徒、膀胱炎で治療。 <2月> ①サムラングの34歳の女性、胎盤除去手術。医療保険で入院費無料 ②サムラングの3歳の男児、デング熱で入院。 <3月> ①スフの14歳の女儿、デング熱で入院。
医療保険 加入手続 指導(婚姻、 出生届等必要 な書類の説明)	*12/15(ハルブ村) ほとんど未加入 *1/29(バカエル村) ほとんど未加入。 *2/23(モクリン村) ほとんど未加入 *3/3-4(サムラングとアルカン村) *3/19(トゥンガン・ラック村)



この半年間の報告で目立ったのは、巡回診療の機会を利用した歯磨き、薬草活用、医療保険加入手続指導です。夫も順調に回復中というジョジョさんの一層の活躍に期待しています。(3月のトゥンガン・ラック村研修で)

自主財源で、持続可能で健康な村作りを！

—PIHS 報告から—

PIHSとの協働事業は、ほぼ10年間、研修と巡回診療支援が中心でした。3年前から、ヘルス活動を維持する自主財源創出事業を始めて、モデルケースの3村では、順次、研修や巡回診療の経費に対する支援を減らせるようになりました。

以下、2012年度の報告と今年度の予定です。

自主財源創出事業対象の3村のうち、ヤン屋根材の共同出荷で収益増加を目指すティナガカンは、ヤシの葉を運ぶ水牛購入の支援を受けて、資材輸送問題の改善が図られました。バロンギスは、耕耘機とカートからの収入で、また、バナグ製品販売が好調のトゥヤンも、近い将来は、研修や巡回診療を、すべて自前で賄えるのではと期待させる成果を上げました。

前号で、就学前の子どもと成人対象の識字教室支援を始めた報告のブラコンは、今年度、ティナガカと同じヤン屋根材共同出荷による自主財源創出事業の対象に決まりました。WE21ジャパンみどりの継続支援でヤシの葉運搬用に水牛を購入の予定です

トゥヤンの組合MULANで、バナグ製品を手にするメンバー



ウハウ研修所での鍼灸治療技術向上研修は、昨年度3回実施され、各回とも10名ほどの保健ボランティアとハイスクール奨学生が参加しました。近くに医療施設がないバロンギスでは、鍼灸治療技術をマスターした保健ボランティアは頼りにされています。

子どもの教育費を稼ぐための出稼ぎなどで、村を離れる熟練保健ボランティアが増え、その防止策で3年前に奨学金支援を開始しました。

ハイスクール奨学生は、研修や巡回診療に参加して、補助するなど、実地に学ぶ機会を得、次世代の保健ボランティア育成にも役立っています。

この奨学金事業も、引き続き、WE21みどりの支援が決まりました。HANDSは、スタッフ1名の給与、交通費等、事業管理面で、PIHSの活動、村のヘルス活動を支えます。